

第8回日本ジオパークネットワーク全国研修会 報告（抄）

1. **主催：** 特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク
白山手取川ジオパーク推進協議会
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会
2. **開催日程：** 2016年1月24日（日）～25日（月）
3. **開催地：** 白山手取川ジオパーク（石川県白山市）
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク（福井県勝山市）
4. **会場：** 全体会（オリエンテーション） 白山市松任文化会館
分科会A（沿岸） 白山市美川文化会館 ほか
分科会B（山間地） 白山国立公園センター ほか
分科会C（盆地） 勝山市福祉健康センター「すこやか」ほか
全体会（発表会） 勝山市福祉健康センター「すこやか」

5. **研修テーマ：** How to establish a geopark ?

－何気ない風景に隠された“大地の物語”を探して－

いつも目にする何気ない風景にも、隠された“大地の物語”がある。山や峡谷、河岸段丘や扇状地、海岸などは、火山活動やプレート運動、浸食、運搬作用などの、過去から続く大地の活動によって作られたものである。そして、動植物や人々がその大地に寄り添いながら生活を繰り広げることで、目の前に広がる風景は形づくられている。

この研修会では、参加者が実際に現地を訪れ、“大地の物語”（ジオストーリー）を体感することを通して、目の前の風景と、それを構成する地域資源を、ジオパークの観点に立った時にどのように活かしていけばよいのかを考えていく。そして議論を重ねる中で、仮想ジオパークとしてのアクションプランを立案する。

6. **研修内容：** 沿岸・山間地・盆地という、自然環境の異なる3つのサイトごとに分科会に分かれ、それぞれ現地を巡りながら何気ない風景に隠された“大地の物語”を探し、見学した地域資源をジオパークとして活用するためのアクションプランや、地域資源を活かしたツアーのモデルコースを作成し、相互に発表しました。

7. 各分科会の活動：

分科会	参加者数	活動概要	活動風景
分科会A 沿岸	19名	手取川河口の港町である美川のまちなみを巡り、糠漬け工場や伏流水などを見学しました。グループワークでは、当地でしか生産されていないふぐの卵巣の糠漬けを軸にしたツアーコースが提案されました。	
分科会B 山間地	20名	雪が降りしきる中、山間豪雪地の白峰を巡り、重要伝統的建造物群保存地区に選定されているまちなみや白山ろく民俗資料館などを見学しました。グループワークでは、雪おろしなど豪雪を体感するツアーコースが提案されました。	
分科会C 盆地	16名	一時は大雪で峠越えができないトラブルに見舞われましたが、九頭竜川や段丘崖、はたや記念館ゆめおーれ勝山などを見学しました。グループワークでは、水と、その水を活かした産業に着目したアクションプランやツアーが提案されました。	

※なお、3分科会の発表に引き続いて行われた参加者全員による投票の結果、最も優れたアクションプラン／ツアーコースには、分科会B（山間地）が選ばれました。